

横須賀市中小企業景況レポート

第 28 号 (令和元年 10 月号)

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課
〒238-8550 横須賀市小川町 11
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページ（下記）からもご覧いただけます。】

[横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市](#)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：157社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査140社）
- ③ 調査期間：前期・・・平成31年4～令和元年6月の景況感（調査時点 令和元年6月1日）
今期・・・令和元年7～9月の景況感（調査時点 令和元年9月1日）
次期・・・令和元年10～12月の景況感（調査時点 〃 ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：DI値算出による（次ページにDI値の説明あり）

景況及び4項目の調査結果（全業種）

*DI値調査結果は裏面に記載

*【 】は今期のDI値を記載

全業種の景況感は、前期の△8Pから9P改善し、【1P】となりました。

今期は、建設業【32P】が、23Pと大きく改善しています。

次期については、今期改善を見せた建設業が大きく悪化する見込みです。

全業種の項目別でみると、雇用人員は、依然として厳しい状況が続いています。

昨年同期（平成30年7月～9月）の景況感比較は、「変わらない」が半数以上を占めています。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（％）－悪い（少ない）等の構成比（％）を計算した値が DI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

良い (15P 以上)	やや良い (6 P~14P)	変わらない (△ 5 P~ 5 P)	やや悪い (△ 6 P~△14P)	悪い (△15P 以下)
↑	↗	→	↘	↓

業種別 調査結果と事業者の声

*DI 値調査結果は裏面に記載

*【 】は今期の DI 値を記載

(1) 製造業 景況感 【 5P <変わらない> → 】 (前期比 8P)

景況感に併せて、売上額【△ 5 P】、収益【△ 7 P】、雇用人員【△ 38P】が、それぞれ微増しましたが、資金繰り【△ 2 P】は 12P 悪化しました。

次期は、若干の回復が見込まれますが、全ての項目で横這いの傾向です。

☆事業者の主な声☆

- ・売上は変わらないが、収益が下がった。人件費も高くなる一方であることと、運搬費が値上がりしたことで、その分が材料費に上乗せされていることが影響していると思われる。
- ・原材料の価格上昇があったが、自社としては、現状多少の値上げで上手く回っている。今回は、収益が減少となっているが、次回は収益増が見込まれる。
- ・4月以降も人員を採用しているが、それを上回る多忙さのため、引き続き採用活動をしている。


(2) 建設業 景況感 【 32P <良い> ↑ 】 (前期比 23P)

収益【16P】、資金繰り【△ 6 P】がそれぞれ 19P、13P の大幅な改善となりましたが、雇用人員【△ 42P】は、依然厳しい状況です。

次期は、売上額、収益が悪化する見込みです。

☆事業者の主な声☆


- ・戸建住宅を中心に元請から安定した受注を確保しており、この状況は当面持続する見通し。しかし、材料等の仕入れ価格の上昇や 10 月からの消費税増税を見据えると価格転嫁も難しく、利幅の縮小が予想される。
- ・安定した受注を受けていることから売上の波はさほどなく、今後もその傾向は変わらない。
- ・受注先も徐々に増えており、今後も売上は順調に推移していく見込みである。

(3) 卸・小売業 景況感 【 $\Delta 15P$ <悪い>  】 (前期比 9P)

全ての項目で横這いですが、雇用人員、資金繰りは、厳しい状況が続いています。次期は、売上額、収益が悪化の見込みですが、他の項目は、横這いの見込みです。

☆事業者の主な声☆


- ・消費増税による消費の停滞が予想されるが、ほとんど影響がないものと予想している。
- ・近隣商店街への来客数の減少や常連客の高齢化の影響で、店頭売上は頭打ちの状況。近隣介護施設への配達により、店頭売上の減少分をカバーしている。
- ・個人宅配の見直し、新規開拓に力を入れ、売上増加を図る。

(4) 不動産業 景況感 【 $14P$ <やや良い>  】 (前期比 7P)

前期に回復を見せた資金繰り【 $\Delta 7P$ 】ですが、今期は若干の悪化が見られます。次期は、収益が若干悪化する見込みですが、他の項目は、ほぼ横ばいの見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・期待していた消費税増税前の住宅購入の駆け込み需要も少なく、売上に大きな変化は見られなかった。現況では、注文住宅とリフォームの顧客が主要で、建売住宅購入顧客は鈍化傾向にある。
- ・10月からの消費税増税の影響で、景気が落ち込む可能性がある。消費税の増税に慣れてしまったのか、駆け込み需要もあまりない。
- ・仕入れ価格の高騰により在庫の確保が出来ていない状態。不動産仲介に注力し、手数料収入による売上の安定を図っている。

(5) サービス業 景況感 【 $\Delta 18P$ <悪い>  】 (前期比 $\Delta 3P$)

雇用人員【 $\Delta 16P$ 】が18Pと大きく改善しましたが、引き続き不足傾向です。資金繰り【 $\Delta 25P$ 】は、12Pの悪化となりました。次期については、横這い傾向が見込まれますが、売上額と収益が悪化する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・5月より「Pay Pay」での決済を導入したものの、現状では利用客・売上の増加には繋がっていない。
- ・来年度の雇用は、1名確保しているが、まだまだ人手不足である。ある程度スキルのある即戦力の中途採用は、何人でも欲しい。仕事はあるが、人手不足で受注できない状況である。
- ・業界全体の景気も低迷しており、新規顧客の獲得に加えて、既存顧客の継続契約に重点をおいて顧客の確保を行い、売上の維持を図っていく。

DI 値 調査結果

前・・・前期 平成31年4～令和元年6月の景況感（調査時点 令和元年6月1日）
 今・・・今期 令和元年7～9月の景況感（調査時点 令和元年9月1日）
 次・・・次期 令和元年10～12月の景況感（調査時点 令和元年9月1日）



業種別調査企業数(業種別調査企業数(回答数)) (単位:社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	164	38	32	42	14	38
今期	157	40	31	40	14	32
次期	157	40	31	40	14	32

(単位:ポイント)

項目	業種			業種			業種			業種			業種			業種		
	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
良い(A)	14	21	16	18	20	23	25	45	26	7	13	10	7	14	21	11	13	3
変わらず	64	59	62	61	65	57	59	42	55	62	59	62	93	86	72	63	56	72
悪い(B)	22	20	22	21	15	20	16	13	19	31	28	28	0	0	7	26	31	25
DI値(A)-(B)	△8	△1	△6	△3	△5	3	9	△32	7	△24	△15	△18	7	△14	14	△15	△18	△22
今-前/次-今	9	△7		8	△2		23	△25		9	△3		7	0		△3	△4	
売上額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
好転(A)	20	25	18	21	23	23	38	48	29	10	20	13	14	14	29	18	19	6
変わらず	57	51	58	50	49	54	46	33	48	61	50	54	79	79	50	61	59	78
悪化(B)	23	24	24	29	28	23	16	19	23	29	30	33	7	7	21	21	22	16
DI値(A)-(B)	△3	△1	△6	△8	△5	0	22	△29	6	△19	△10	△20	7	△7	8	△3	△3	△10
今-前/次-今	4	△7		3	5		7	△23		9	△10		0	1		0	△7	
収益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
増加(A)	17	19	11	21	18	13	25	35	23	12	13	8	14	14	14	13	16	3
変わらず	59	59	68	47	57	69	47	46	58	62	59	59	79	79	72	69	65	81
減少(B)	24	22	21	32	25	18	28	19	19	26	28	33	7	7	14	18	19	16
DI値(A)-(B)	△7	△3	△10	△11	△7	△5	△3	△16	4	△14	△15	△25	7	△7	0	△5	△3	△13
今-前/次-今	4	△7		4	2		19	△12		△1	△10		0	△7		2	△10	
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
多い(A)	3	3	2	5	5	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	9	6
適正	60	62	62	50	52	54	56	58	55	67	65	62	86	79	79	56	66	69
少ない(B)	37	35	36	45	43	43	41	42	45	33	35	38	14	21	21	39	25	25
DI値(A)-(B)	△34	△32	△34	△40	△38	△40	△38	△42	△45	△33	△35	△38	△14	△21	△21	△34	△16	△19
今-前/次-今	2	△2		2	△2		△4	△3		△2	△3		△7	0		18	△3	
資金繰り	資金繰りが上手に行っているかを判断するためお聞きました。																	
余裕がある(A)	10	12	10	21	13	15	9	23	16	7	13	8	0	0	7	8	6	0
支障がない	72	63	70	68	72	75	63	48	58	74	54	69	100	93	86	71	63	69
苦しい(B)	18	25	20	11	15	10	28	29	26	19	33	23	0	7	7	21	31	31
DI値(A)-(B)	△8	△13	△10	10	△2	5	△19	△6	△10	△12	△20	△15	0	△7	0	△13	△25	△31
今-前/次-今	△5	3		△12	7		13	△4		△8	5		△7	7		△12	△6	

<参考>昨年同期と現在の景況感比較(回答144社)

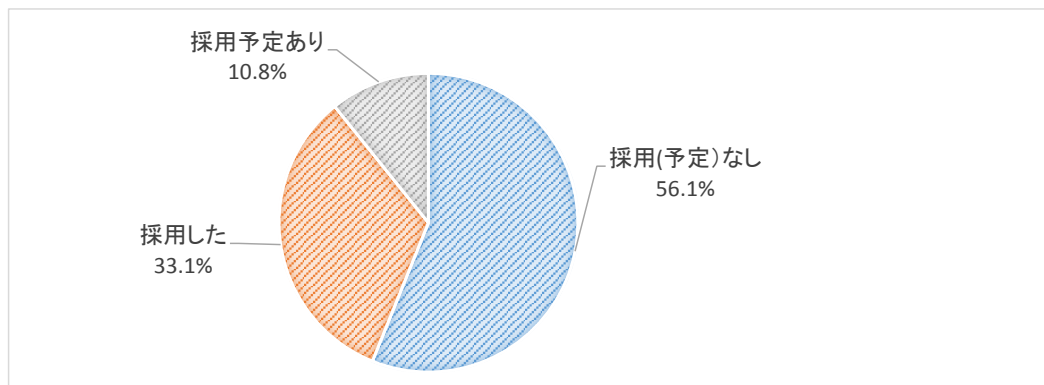
	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	28社	19%	15%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	75社	53%	65%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	41社	28%	20%
DI値(A)-(B)		△5P	△5P



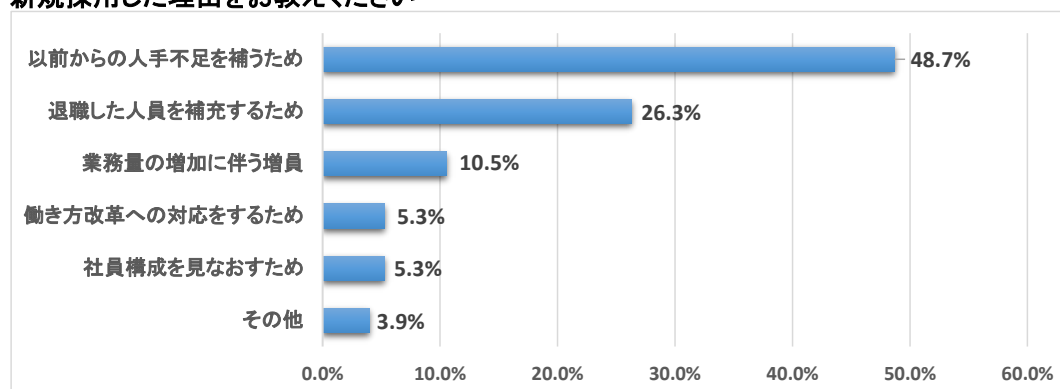
【特別調査(年1回)】 回答企業数 139社

1. 人員の採用について

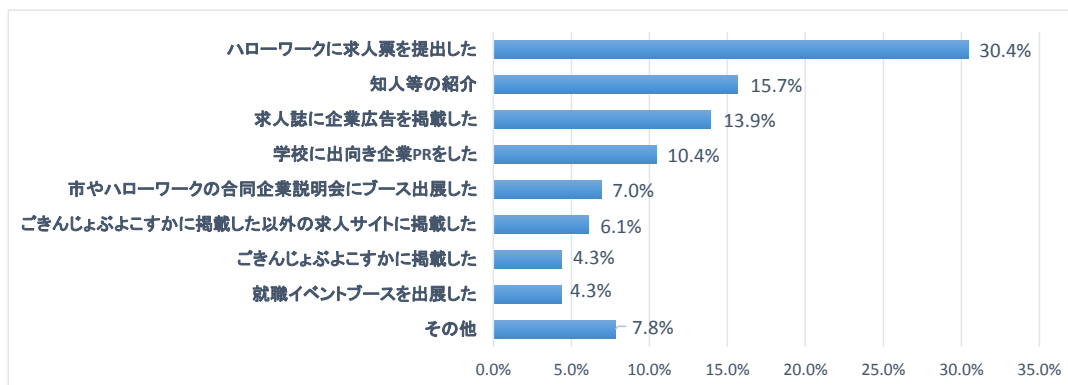
① 平成31年4月1日から令和元年8月末までの新規採用の状況をお教えてください



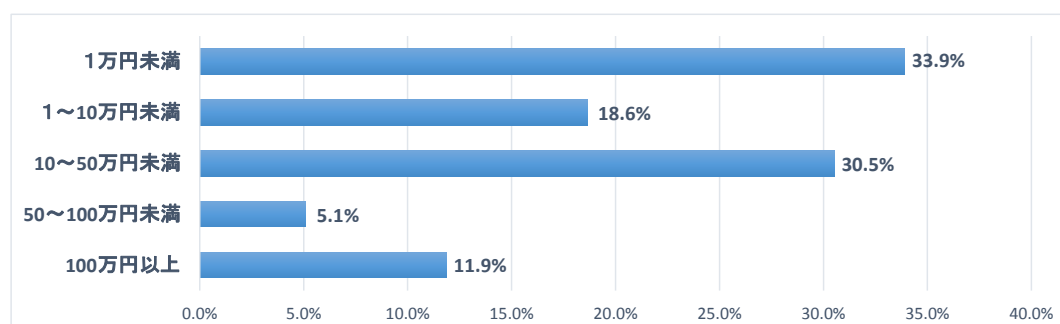
② 新規採用した理由をお教えてください



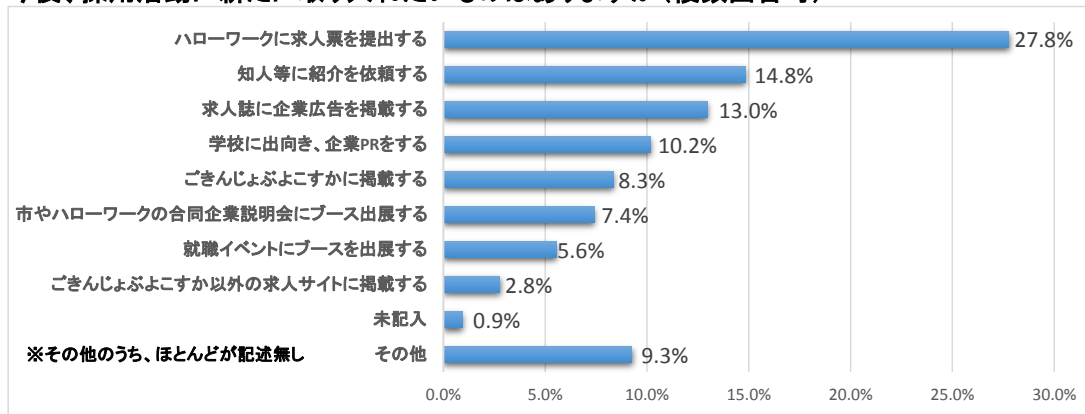
③ 採用活動として、どのような取り組みを行いましたか(複数回答可)



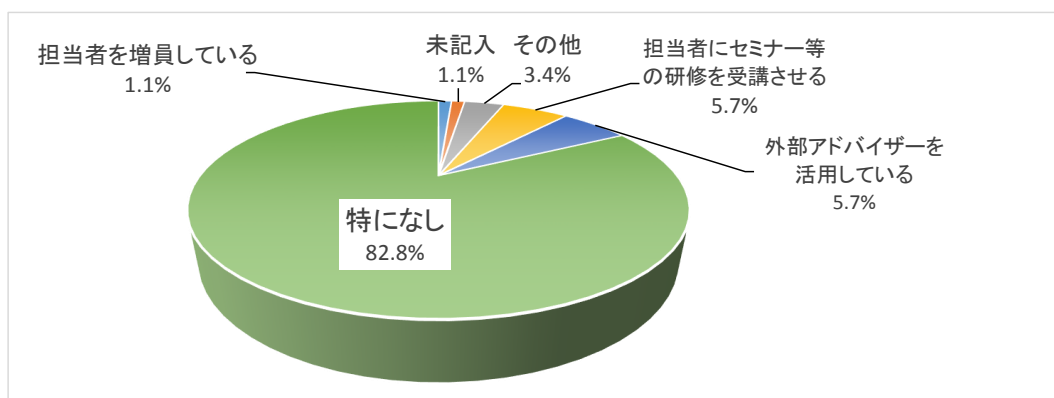
④ 採用活動で必要となった概算経費(人件費以外)はいくらですか



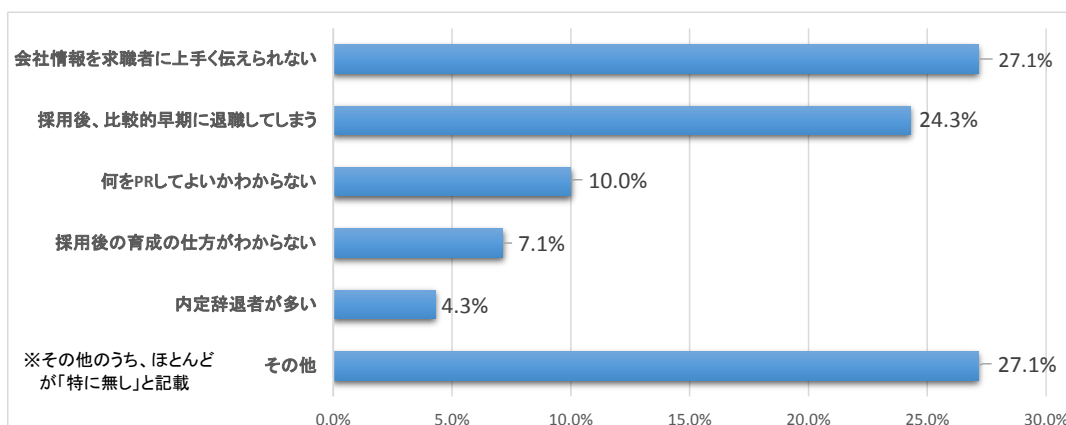
⑤ 今後、採用活動に新たに取入れたいものはありますか(複数回答可)



⑥ 採用力アップのために努力していることはありますか(複数回答可)



⑦ 採用活動で困っていることを教えてください(複数回答可)

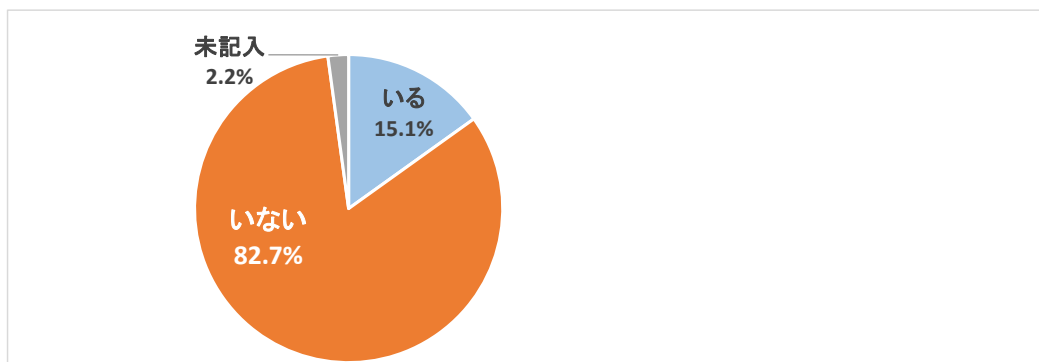


⑧ 採用に関して市に支援してほしいことはありますか

- 雇用補助金等、国の制度の条件が厳しく手続きも複雑なので、簡易な手続きのものがほしい。
- 中小製造事業等は、商業や建設と異なり、「何を作っている企業なのか」わかりにくいので、情報発信に協力してほしい。
- 新卒採用向け、中途採用向けの合同企業就職説明会の開催回数を増やしてほしい。
- 有料求人サイトの掲載料に対する補助金がほしい。

2. 外国人労働力の活用について

① 貴社には、外国籍の人員はいますか

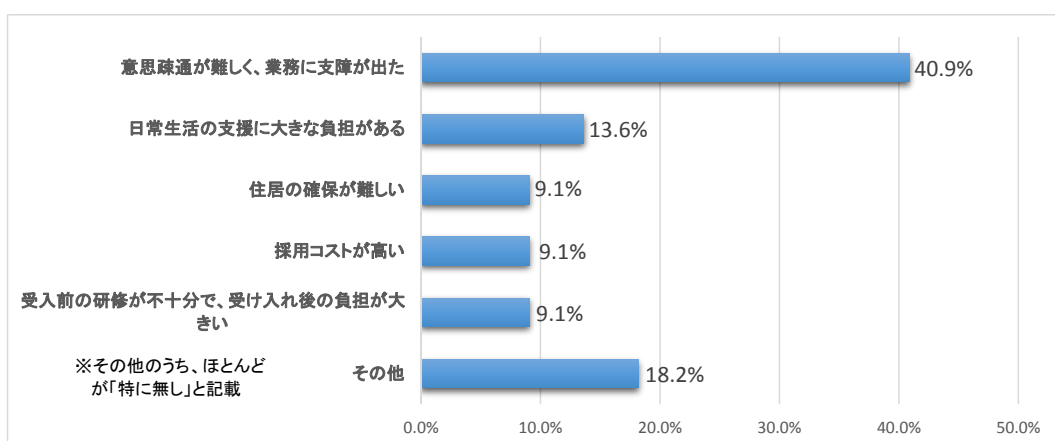


② 外国籍の人員の在留資格、国籍および人数をお教えてください

○外国籍の人員 59名

国籍	在留資格					人数	割合
	永住者・日本人の配偶者等	技能実習	特定技能	留学	その他		
中国	2	3	0	0	0	5	8.5%
韓国	1	0	0	0	0	1	1.7%
フィリピン	3	15	0	0	0	18	30.5%
ベトナム	13	3	1	0	0	17	28.8%
インドネシア	0	0	3	0	0	3	5.1%
ネパール	0	0	1	1	0	2	3.4%
ミャンマー	1	0	0	0	0	1	1.7%
モンゴル	0	9	0	0	0	9	15.3%
カンボジア	0	2	0	0	0	2	3.4%
フランス	0	0	0	0	1	1	1.7%
計	20	32	5	1	1	59	100.0%

③ 外国人労働力の活用にあたり、苦勞されたことをお教えてください



④ 外国人労働力の活用に関して市に支援してほしいことはありますか

- 生産管理の研修やゴミ出し等、地域の生活に必要な知識を伝えてほしい。
- 住宅等、会社近くに借りられるような紹介制度、共同貸借の支援。
- 日本語を勉強できる機会を設けてほしい。日常生活の相談窓口がほしい。